

## 令和3年度1学期 学校評価から見えること

生野中学校

### <保護者より> 総合評価 7.0/10.0

◎生徒たちは、社会のルールや規則を守っている	96%
◎学校は生徒にとって楽しく充実したところである	96%
◎部活動は、生徒にとって充実した活動となっている	94%
△生徒は、家庭で意欲的に学習に取り組めていない	48%
△生徒は、目標を持って学校生活を送れていない	27%
△PCやスマートフォンの使い方・ルールを決めていない	25%

### <生徒より> 総合評価 7.9/10.0

◎自分には、夢中になれるものがある	94%
◎自分は、学校や学級で好ましい友人関係を持っている	94%
◎自分は、社会のルールや学校の規則を守っている	94%
△自分は、困ったり悩んだりすることがある	40%
△自分は、家庭で意欲的に学習に取り組めていない	30%
△PCやスマートフォンの使い方・ルールを決めていない	36%

### 総合評価

生徒は、家庭や地域でも、ルールを正しく生活ができています。学校も楽しく充実した場所になっているようである。授業もわかりやすいと感じており、先生方の指導に公平感をもっているようである。

しかし、家庭学習において課題が見られる。さらに、家庭でのPCやSNSなどの利活用に課題があり、家庭でのルールが設定されていない家庭が多いようである。

### 課題解決に向けて

- 1 学校の姿勢として、同じ方向で生徒に対応していくことは、当然のことであり、不公平があってはならないことである。組織として対応することが大事であり、教職員の共通理解を常に図りながら風通しのよい職場づくりに努めるとともに、誰もが公平な姿勢で生徒と接していく。
- 2 家庭学習に課題がある。自主的に家庭学習に取り組む習慣をつけさせる必要が在る。今一度、小中連携で作成した「家庭学習の手引き」の周知と活用を図ることが必要である。  
また、教職員はICT機器を活用し、生徒が自ら学びたい、もっと調べたいと感じる授業の創造をめざしていく。
- 3 家庭でのSNSやPCの利用に課題がある。ネット社会の利便性が向上したことに伴い、その扱い方の決まりを作り、正しくSNSが利活用できる力を養っていくことが早急の課題である。  
今後、保護者にはPTA教育講演会への積極的な参加呼びかけを行う。また、生徒会と連携し、座談会を通して、生徒会活動としてルールの見直しを含めた継続した取組を進めていく。
- 4 授業がよく分かるようになったと評価する生徒が増えてきている。こうした生徒の期待に応えられるよう、さらに教材研究を深め、授業改善に努めていく。また、ひとクラスを半分に分けて学習をする新学習システムなどを取り入れて、よりきめの細かい丁寧な授業を進めていく。